

青森県報

第千四号

令和七年
十二月十二日
(金曜日)

目次

告 示

○あおもり米子育て応援事業企画・運営業務委託の支出に関する事務の委託……………(みらい課) ……一

公 告

○特定調達契約に係る契約の相手方の決定に関する公示……………(みらい課) ……一

○農地を利用する権利の設定の裁定……………(構造政策課) ……二

○右 同……………(同) ……二

○右 同……………(同) ……三

○右 同……………(同) ……三

○右 同……………(同) ……四

○右 同……………(同) ……五

○右 同……………(同) ……五

公安委員会

○特定調達契約に係る落札者の決定に関する公示……………(会計課) ……六

○右 同……………(同) ……六

告 示

青森県告示第五百九十四号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十三条の二第一項の規定により次のとおり指定公金事務取扱者に歳出の支出に関する事務を委託したので、同条第二項の規定により告示する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 指定公金事務取扱者の名称及び住所又は事務所の所在地、指定年月日並びに委託年月日

| 名称 | 住所又は事務所の所在地 | 指定年月日 | 委託年月日 |
|-------------------|-------------|---------|---------|
| あおもり米子育て応援事業運営共同体 | 青森市佃二丁目二の一一 | 令和七・二・三 | 令和七・二・三 |

二 委託した支出に関する事務に係る歳出

あおもり米子育て応援事業企画・運営業務委託の支出に関する事務

三 委託期間

令和七年十一月二十一日から令和八年九月三十日まで

公 告

特定調達契約に係る契約の相手方の決定に関する公示

地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成七年政令第三百七十二号）第四条に規定する特定調達契約につき契約の相手方を決定したので、同令第十二条の規定により次のとおり公示する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

- 一 特定役務の名称及び数量
あおもり米子育て応援事業企画・運営業務 一式
- 二 契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在地
青森県こども家庭部こどもみらい課
青森市長島一丁目の一
- 三 契約の方法
随意契約
- 四 契約の相手方を決定した日
令和七年十一月二十一日
- 五 契約の相手方の名称及び住所
あおもり米子育て応援事業運営共同体 代表者 株式会社アール・エー・ビー
サービス
青森市佃一丁目二の一
- 六 契約金額
十億三百九十七万四千円
- 七 随意契約の理由
地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令第十一条第一
項第一号
- 八 契約の相手方を決定した手続
企画競争を実施し、最優秀提案者として選定した者を契約の相手方としたもので
ある。

農地を利用する権利の設定の裁定

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて
準用する同法第三十九条第一項の規定により、次のとおり農地を利用する権利（以下
「利用権」という。）を設定すべき旨の裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規
定により公告する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

- 一 利用権を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

| 所 在 及 び 地 番 | 地 目 | 面 積（平方メートル） |
|---------------|-----|-------------|
| 弘前市大字前坂字赤井二七七 | 田 | 九八 |

- 二 利用権の内容
賃借権

- 三 利用権の始期及び存続期間

| 利 用 権 の 始 期 | 存 続 期 間 |
|-------------|---------|
| 令和八年四月一日 | 五年 |

- 四 借賃に相当する補償金の額
六千円

- 五 補償金の支払の方法
利用権の始期までに利用権を設定すべき農地の所在地の供託所に補償金を供託す
ること。

- 六 利用権を設定すべき農地の所有者等に係る情報
昭和四十九年十月に登記名義人が死亡し、所有者が確知できない状態となってい
る。

農地を利用する権利の設定の裁定

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて
準用する同法第三十九条第一項の規定により、次のとおり農地を利用する権利（以下
「利用権」という。）を設定すべき旨の裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規
定により公告する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 利用権を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

| 所 在 及 び 地 番 | 地 目 | 面積（平方メートル） |
|----------------|-----|------------|
| 弘前市大字前坂字船山三〇の二 | 田 | 一一〇 |

二 利用権の内容

賃借権

三 利用権の始期及び存続期間

| 利 用 権 の 始 期 | 存 続 期 間 |
|-------------|---------|
| 令和八年四月一日 | 一〇年 |

四 借賃に相当する補償金の額

九千円

五 補償金の支払の方法

利用権の始期までに利用権を設定すべき農地の所在地の供託所に補償金を供託すること。

六 利用権を設定すべき農地の所有者等に係る情報

昭和三十九年九月に登記名義人が死亡し、所有者が確知できない状態となっている。

農地を利用する権利の設定の裁定

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて準用する同法第三十九条第一項の規定により、次のとおり農地を利用する権利（以下「利用権」という。）を設定すべき旨の裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規定により公告する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 利用権を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

| 所 在 及 び 地 番 | 地 目 | 面積（平方メートル） |
|-------------------|-----|------------|
| 弘前市大字高杉字山下三四二の一三三 | 畑 | 二九四 |

二 利用権の内容

賃借権

三 利用権の始期及び存続期間

| 利 用 権 の 始 期 | 存 続 期 間 |
|-------------|---------|
| 令和八年四月一日 | 二年 |

四 借賃に相当する補償金の額

四千六百円

五 補償金の支払の方法

利用権の始期までに利用権を設定すべき農地の所在地の供託所に補償金を供託すること。

六 利用権を設定すべき農地の所有者等に係る情報

昭和五十三年六月に登記名義人が死亡し、所有者が確知できない状態となっている。

農地を利用する権利の設定の裁定

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて準用する同法第三十九条第一項の規定により、次のとおり農地を利用する権利（以下「利用権」という。）を設定すべき旨の裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規定により公告する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 利用権を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

| 所 在 及 び 地 番 | 地 目 | 面積（平方メートル） |
|----------------|-----|------------|
| 弘前市大字高杉字長谷野二七一 | 田 | 一三一 |

二 利用権の内容
賃借権

三 利用権の始期及び存続期間

| 利 用 権 の 始 期 | 存 続 期 間 |
|-------------|---------|
| 令和八年四月一日 | 一〇年 |

四 借賃に相当する補償金の額
一万六千円

五 補償金の支払の方法
利用権の始期までに利用権を設定すべき農地の所在地の供託所に補償金を供託すること。

六 利用権を設定すべき農地の所有者等に係る情報
昭和四十五年五月に登記名義人が死亡し、所有者が確知できない状態となっている。

農地を利用する権利の設定の裁定

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて準用する同法第三十九条第一項の規定により、次のとおり農地を利用する権利（以下「利用権」という。）を設定すべき旨の裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規定により公告する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗 一 郎

一 利用権を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

| 所 在 及 び 地 番 | 地 目 | 面積（平方メートル） |
|---------------------|-----|------------|
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の五三 | 畑 | 一、四二二 |
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の一〇八 | 畑 | 八五 |

二 利用権の内容

| 農 地 の 区 分 | 利用権の内容 |
|---------------------|--------|
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の五三 | 賃借権 |
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の一〇八 | 賃借権 |

三 利用権の始期及び存続期間

| 農 地 の 区 分 | 利用権の始期 | 存続期間 |
|---------------------|-----------|------|
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の五三 | 令和八年三月二〇日 | 二〇年 |
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の一〇八 | 令和八年三月二〇日 | 二〇年 |

四 借賃に相当する補償金の額

| 農 地 の 区 分 | 借賃に相当する補償金の額（円） |
|---------------------|-----------------|
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の五三 | 三二八、〇〇〇 |
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の一〇八 | 一八、〇〇〇 |

五 補償金の支払の方法

利用権の始期までに利用権を設定すべき農地の所在地の供託所に補償金を供託す

ること。

六 利用権を設定すべき農地の所有者等に係る情報

| 農 地 の 区 分 | 所有者等に係る情報 |
|---------------------|---------------------------------------|
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の五三 | 平成十六年六月に登記名義人が死亡し、所有者が確知できない状態となっている。 |
| 五所川原市大字原子字紅葉一七四の一〇八 | 平成十六年六月に登記名義人が死亡し、所有者が確知できない状態となっている。 |

農地を利用する権利の設定の裁定

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて準用する同法第三十九条第一項の規定により、次のとおり農地を利用する権利（以下「利用権」という。）を設定すべき旨の裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規定により公告する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 利用権を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

| 所 在 及 び 地 番 | 地 目 | 面積（平方メートル） |
|----------------------|-----|------------|
| 南津軽郡藤崎町大字藤越字東一本木九八の四 | 畑 | 七三七 |

二 利用権の内容

賃借権

三 利用権の始期及び存続期間

| 利用 権 の 始 期 | 存 続 期 間 |
|------------|---------|
| 令和八年四月一日 | 二〇年 |

四 借賃に相当する補償金の額

〇円

五 利用権を設定すべき農地の所有者等に係る情報

登記名義人は本籍地不明であり、所有者が確知できない状態となっている。

農地を利用する権利の設定の裁定

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて準用する同法第三十九条第一項の規定により、次のとおり農地を利用する権利（以下「利用権」という。）を設定すべき旨の裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規定により公告する。

令和七年十二月十二日

青森県知事 宮 下 宗一郎

一 利用権を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

| 所 在 及 び 地 番 | 地 目 | 面積（平方メートル） |
|--------------------|-----|------------|
| 三戸郡南部町大字剣吉字前河原一の二四 | 畑 | 九一七 |

二 利用権の内容

賃借権

三 利用権の始期及び存続期間

| 利 用 権 の 始 期 | 存 続 期 間 |
|-------------|---------|
| 令和八年四月一日 | 五年 |

四 借賃に相当する補償金の額

三万三千五百円

五 補償金の支払の方法

利用権の始期までに利用権を設定すべき農地の所在地の供託所に補償金を供託す

ること。

六 利用権を設定すべき農地の所有者等に係る情報

平成十六年五月に登録名義人が死亡し、所有者が確知できない状態となっている。

公安委員会

特定調達契約に係る落札者の決定に関する公示

地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成七年政令第三百七十二号）第四条に規定する特定調達契約につき落札者を決定したので、同令第十二条の規定により次のとおり公示する。

令和七年十二月十二日

青森県警察本部長 安 田 貴 司

一 物品等の名称及び数量

渋滞・映像表示システム機器等賃貸借契約 一式

二 契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在地

青森県警察本部警務部会計課

青森市新町二丁目三の一

三 契約の方法

一般競争入札

四 落札者を決定した日

令和七年十月二十八日

五 落札者の名称及び住所

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社

東京都港区芝浦一丁目二の三

六 落札金額

七十三万二千六百円

七 落札者を決定した手続

賃貸借機器等に要求する仕様が満たされしていると判断した申請書を提出した者

で、かつ、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者としたものである。

八 入札の公告を行った日

令和七年九月十六日

特定調達契約に係る落札者の決定に関する公示

地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成七年政令第三百七十二号）第四条に規定する特定調達契約につき落札者を決定したので、同令第十二条の規定により次のとおり公示する。

令和七年十二月十二日

青森県警察本部長 安 田 貴 司

一 物品等の名称及び数量

ガスクロマトグラフ質量分析計賃貸借契約 一式

二 契約に関する事務を担当する部局の名称及び所在地

青森県警察本部警務部会計課

青森市新町二丁目三の一

三 契約の方法

一般競争入札

四 落札者を決定した日

令和七年十一月二十七日

五 落札者の名称及び住所

みちのくリース株式会社

青森市橋本一丁目四の一〇

六 落札金額

八十二万五千円

七 落札者を決定した手続

賃貸借機器等に要求する仕様が満たされしていると判断した申請書を提出した者

で、かつ、予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を

落札者としたものである。

八
入札の公告を行った日
令和七年十月十七日

| | |
|---|-----------------|
| (発行所・発行人) 青森市長島一丁目一番一 青森県号 | |
| (印刷所・販売人) 青森市第二問屋町三丁目一番七 東奥印刷株式会社 | |
| 毎週月・水・金曜日発行 | 定価小口一枚二付二十一円七十銭 |